

令和5年度第1回 山陽小野田市子ども・子育て協議会資料

令和5年12月14日（木） 18時30分～
山陽小野田市役所3階 第1委員会室



議事1	(第2期) 子ども・子育て支援事業計画の令和4年度実施状況について	- 2 -
1	教育・保育提供体制の充実	- 2 -
2	地域子ども・子育て支援事業の充実	- 4 -
(1)	利用者支援事業	- 4 -
(2)	地域子育て支援拠点事業	- 4 -
(3)	妊婦健康診査	- 5 -
(4)	乳児家庭全戸訪問事業	- 6 -
(5)	養育支援訪問事業	- 7 -
(6)	子育て短期支援事業	- 7 -
(7)	ファミリーサポートセンター事業	- 8 -
(8)	一時預かり事業(幼稚園の預かり保育)	- 8 -
(9)	一時預かり事業(幼稚園の預かり保育以外)	- 9 -
(10)	延長保育事業	- 9 -
(11)	病児保育事業	- 10 -
(12)	放課後児童クラブ事業	- 10 -
議事2	令和5年度子育て支援課主要施策について	- 15 -

議事1 (第2期)子ども・子育て支援事業計画の令和4年度実施状況について

1 教育・保育提供体制の充実

①事業の概要

令和4年度は、公立保育所3園、私立保育所12園、小規模保育事業所2園、公立幼稚園1園及び私立幼稚園6園で教育・保育の提供を行いました。

②令和4年度の実績

子ども・子育て支援新制度で定められた1号～3号の認定区分ごとの見込量（入所申込児童数）と、各施設区分ごとの確保方策（提供量）についての計画、実績及びその比較は次のとおりです。

※1号認定・・・幼稚園（3歳以上）

2号認定・・・認可保育所（3歳以上）

3号認定・・・認可保育所（3歳未満）、地域型保育（0～2歳）

教育・保育提供体制の見込量と提供量

表-1-1

計画		1号認定	2号認定	3号認定	
		3歳以上	3歳以上	1～2歳	0歳
見込量合計①		569人	791人	465人	191人
確保方策 (提供量)	特定教育・保育施設	345人	892人	458人	153人
	確認を受けない幼稚園	395人	—	—	—
	特定地域型保育事業	—	—	24人	9人
	合計②	740人	892人	482人	162人
②-①		171人	101人	17人	▲29人

表-1-2

実績		1号認定	2号認定	3号認定	
		3歳以上	3歳以上	1～2歳	0歳
見込量（申込数）合計①		491人	767人	422人	176人
確保方策 (提供量)	特定教育・保育施設	300人	841人	438人	156人
	確認を受けない幼稚園	395人	—	—	—
	特定地域型保育事業	—	—	24人	8人
	合計②	695人	841人	462人	164人
②-①		204人	74人	40人	▲12人

※1号認定は令和4年5月1日、2号認定及び3号認定は令和5年3月1日時点の数値です。

※確保方策（提供量）：定員＞入園（所）者数の場合は定員、入園（所）者数＞定員の場合は入園（所）者数としました。

表-1-3

実績-計画		1号認定	2号認定	3号認定	
		3歳以上	3歳以上	1～2歳	0歳
見込量合計①		▲78人	▲24人	▲43人	▲15人
確保方策 (提供量)	特定教育・保育施設	▲45人	▲51人	▲20人	3人
	確認を受けない幼稚園	0人	—	—	—
	特定地域型保育事業	—	—	0人	▲1人
	合計②	▲45人	▲51人	▲20人	2人
②-①		33人	27人	23人	17人

- ・ 1号認定 提供量が見込量（申込数）を上回っており、提供量は充足しています。
- ・ 2号認定 提供量が見込量（申込数）を上回っており、提供量は充足しています。
- ・ 3号認定 平成28年度に2か所の小規模保育事業所を認可し、保育需要が多い0～2歳の乳幼児の受け皿の整備を行い、1～2歳の保育を必要とする児童は、提供量が見込量（申込数）を上回りましたが、0歳の保育を必要とする児童は、依然として、提供量が見込量（申込数）を下回っており、提供量が不足しています。

待機児童については、年度が進むにつれて3号認定区分で発生している状況です。保育需要の高まりがある状況の中においても年少人口の減少が加速的に進んでおり、保育需要は減少の傾向にありますが、近年、保育士不足が続いており、3号認定区分の保育需要に対して、確保方策（供給量）の確保が困難な状況となっています。

教育・保育の供給量の状況

表-2

	1号認定	2号認定	3号認定	
			1～2歳	0歳
見込量(申込数)	計画 > 実績	計画 > 実績	計画 > 実績	計画 > 実績
提供量	計画 > 実績	計画 > 実績	計画 > 実績	計画 < 実績
供給量の検証	充足	充足	充足	不足

2 地域子ども・子育て支援事業の充実

(1) 利用者支援事業

①事業の概要

子ども及びその保護者が、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等を円滑に利用できるような情報の提供を行い、必要に応じて相談・助言を行うとともに、関係機関との連絡調整を行います。

②事業の実績、課題及び今後の方向性

平成27年4月に利用者支援事業（特定型）を開始しました。

事業開始時は、こども福祉課（現子育て支援課）職員による窓口対応で事業を行いました。平成27年12月からは地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）を活用して、子育て専門支援員（子育てコンシェルジュ）を配置して事業を始めました。

平成28年4月には、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を行う子育て世代包括支援センター「ココシエ」を保健センター内に設置し、利用者支援事業（母子支援型）を開始しました。

平成30年4月には、利用者支援事業（特定型・母子保健型）の実施場所を子育て総合支援センター（スマイルキッズ）に移し、利用者支援事業（特定型）は利用者支援事業（基本型）として、子育てコンシェルジュ2名体制で事業を開始し現在まで継続しています。

利用者支援事業（基本型）と利用者支援事業（母子保健型）との一体的な実施により、利用者支援事業の充実に取り組んでいます。

利用者支援事業の実施箇所数の計画と実績

表-3

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所
実績	2か所	2か所	2か所		
状況	100%	100%	100%		

(2) 地域子育て支援拠点事業

①事業の概要

地域の身近な場所である保育所で、園庭開放や子育て講座等を行い、子育て中の親子の交流・育児相談の場を提供することにより、地域の子育てを支援するとともに、子どもの健全育成に取り組んでいます。

②事業の実績、課題及び今後の方向性

さくら保育園、姫井保育園及び貞源寺第二保育園で地域子育て支援センターを開設しています。令和3年度から須恵保育園が事業を休止しています。

さらに、日の出保育園、ねたろう保育園、厚陽保育園、伸宏保育園及び真珠保育園で

元気子育て支援センターを開設しています。

平成30年度からは、スマイルキッズでも事業を開始しました。スマイルキッズでは、市内の地域子育て支援センターと連携を図りながら、事業の向上に取り組んでいます。

令和2年3月からは新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、施設の閉鎖や利用人数の制限を行ったため、利用者数が激減してしまいましたが、令和4年度は、利用人数の制限を緩和したため、利用者数が、増加しました。

今後も、安心安全に利用していただけるよう事業を行います。

地域子育て支援センターの利用者数・実施個所数の計画と実績 表-4

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	34,920人	33,660人	32,724人	31,728人	30,816人
	5か所	5か所	5か所	5か所	5か所
実績	11,770人	10,955人	14,794人		
	5か所	4か所	4か所		
達成率	33.7%	32.5%	45.2%		
	80%	80%	80%		

(3) 妊婦健康診査

①事業の概要

妊婦の健康の保持増進を図るため、妊婦に対する健康診査として、健康状態の把握や必要な検査計測、保健指導を実施するとともに、妊娠期間中の適切な時期に必要な応じた検査を実施します。

②事業の実績、課題及び今後の方向性

母子健康手帳の交付時に、14回分の妊婦健康診査受診補助券を交付しています。妊娠する方の人数による影響が大きく、実績値の多寡で成果を図ることが困難です。制度の周知に努め、妊娠された方が適切に健康診査を受診することができるよう取り組んでいます。

また、平成30年4月から、産婦健康診査を実施することにより、出産後のサポート体制を強化しています。産婦健康診査は、医療機関において、産後2週間、産後1か月の2回実施し、令和4年度は、283人、600回の受診がありました。

さらに令和2年度から、妊婦歯科健康診査を始めました。令和4年度は、145人の受診がありました。

妊婦健康診査の対象者数・受診回数計画と実績

表－5

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	人数	398人	386人	375人	365人	357人
	回数	5,279回	5,120回	4,974回	4,841回	4,735回
実績	人数	334人	337人	283人		
	回数	4,276回	4,162回	3,796回		
達成率		83.9%	87.3%	75.5%		
		81.0%	81.3%	76.3%		
医療機関において、国が定める基本的な妊婦健康診査を実施						

(4) 乳児家庭全戸訪問事業

①事業の概要

赤ちゃんが生まれたすべての家庭を保健師や母子保健推進員が訪問し、母子保健サービス等子育て支援に関する情報提供、養育環境の把握及び育児相談等を行います。

②事業の実績、課題及び今後の方向性

出生者数の増減による影響が大きく、訪問数の多寡で事業の成果を図ることが難しい事業です。

本事業の主な実施主体である母子保健推進員については、欠員となっている地域もあり、推進員の確保・補充に苦慮している状況です。戸別訪問等も行い、母子保健推進員の人員確保に取り組んでいます。

また、母子保健推進員の資質向上のため、年4回の研修を実施しています。

今後も母子保健推進員の人材確保と質の向上に努めながら、母子保健推進員及び保健師による全戸訪問を実施し、乳児家庭の孤立を防ぐとともに、乳児の健全育成環境の整備に努めます。

乳児家庭全戸訪問事業の対象者数の計画と実績

表－6

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	量の見込み	404人	392人	381人	369人	360人
	確保方策	404人	392人	381人	369人	360人
実績		334人	336人	329人		
達成率		82.7%	85.7%	86.4%		

母子保健推進員の推移

表－7

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
人数	53人	53人	44人	48人	47人	47人	47人	47人	46人

(5) 養育支援訪問事業①事業の概要

乳児家庭全戸訪問事業等により把握した養育支援が特に必要な家庭を保健師が訪問し、その養育が適切に行われるよう、必要な支援を行います。

②事業の実績、課題及び今後の方向性

支援を必要とする家庭の見落としがないよう、また、該当の家庭には、適切な支援の提供の実現に努めています。

今後も養育支援訪問を継続し、子育てに対して不安や孤立感等を抱える家庭が必要とする適切な支援を提供し、個々の家庭が抱える養育上の諸問題の解決・軽減に努めます。

また、平成28年の児童福祉法改正により、市はこれまで以上に要保護児童・要支援児童の早期発見のため取組が必要となっていることから、今後もココシエと家庭児童相談室が連携を図り、必要な支援が行き届くよう養育支援訪問事業を実施します。

養育支援訪問事業の対象者数の計画と実績**表-8**

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	量の見込み	30人	30人	30人	30人	30人
	確保方策	30人	30人	30人	30人	30人
実績		47人	25人	53人		
達成率		156.7%	83.3%	176.7%		

(6) 子育て短期支援事業①事業の概要

保護者の疾病や仕事等の理由により、家庭での児童の養育が一時的に困難となった場合に、児童養護施設等で一定期間児童等を養育・保護する制度です。

②事業の実績、課題及び今後の方向性

令和4年度は次の施設及び里親と委託契約を交わし、事業を行いました。

- ・児童養護施設陽光園（山陽小野田市）
- ・こども家庭支援センター清光（山口市）
- ・児童養護施設なかべ学院（下関市）
- ・乳児院なかべ学院（下関市）

利用希望に対して適切に対応できる体制を整えるため、今後も受入態勢の充実に努めます。

子育て短期支援事業の利用者数の計画と実績

表-9

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	量の見込み	40人	40人	40人	40人	40人
	確保方策	40人	40人	40人	40人	40人
実績		19人	5人	5人		
達成率		47.5%	12.5%	12.5%		

(7) ファミリーサポートセンター事業

①事業の概要

子育て中の人や、仕事などで子どもの世話ができないときに、育児の援助を受けたい人と援助できる人が助け合う相互援助活動の会員組織です。

②事業の実績、課題及び今後の方向性

本事業を円滑に運営するためには、子育て支援の担い手である提供会員の確保が大切です。

今後も引き続き制度の周知に努め利用の促進を図るとともに、全ての利用希望に対応できるようにするため、提供会員の一層の確保に努めます。

また、提供会員の資質向上のための取組として、研修の実施を継続します。

ファミリーサポートセンター事業の利用者数の計画と実績

表-10

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	量の見込み	600件	600件	600件	600件	600件
	確保方策	600件	600件	600件	600件	600件
実績		465件	461件	403件		
達成率		77.5%	76.8%	67.2%		

登録会員数の推移

表-11

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
依頼会員	209人	232人	277人	272人	279人	286人	280人	300人	289人	249人
提供会員	41人	38人	36人	43人	44人	42人	36人	40人	42人	41人
両方会員	18人	19人	24人	28人	30人	29人	34人	36人	41人	47人
合計	268人	289人	337人	343人	353人	357人	350人	376人	372人	337人

(8) 一時預かり事業（幼稚園の預かり保育）

①事業の概要

主として、幼稚園等に在籍する満3歳以上の幼児で、教育時間の前後又は長期休暇等に、幼稚園で一時的に保育を行います。

②事業の実績、課題及び今後の方向性

平成28年度に小野田小百合幼稚園で、令和元年度から高千帆小百合幼稚園で事業

を開始しました。

近年、利用実績は当初の見込みを大きく下回っています。年少人口の減少に伴い、幼稚園の園児数が減少したためであると考えられます。

通常の教育時間以外に実施される事業のため、施設の意向に基づき実施しています。

一時預かり事業（幼稚園の預かり保育）の利用者数の計画と実績 表－12

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	量の見込み	20,000人	20,000人	20,000人	20,000人	20,000人
	確保方策	20,000人	20,000人	20,000人	20,000人	20,000人
実績		6,466人	6,738人	6,691人		
達成率		32.3%	33.7%	33.5%		

（9）一時預かり事業（幼稚園の預かり保育以外）

①事業の概要

急な用事や急病等により、一時的に児童の世話ができない場合に、保育所でお子さんをお預かりする事業です。1月に12日まで利用することができます。利用希望者は直接園に申し込みます。

②事業の実績、課題及び今後の方向性

日の出保育園、ねたろう保育園、厚陽保育園、焼野保育園、須恵保育園、さくら保育園、真珠保育園、貞源寺第二保育園及びあおい保育園の9園で事業を実施しています。

令和4年度の利用実績は当初の見込みを下回りましたが、過去2年度と比較して、増加しています。

今後も施設の意向を聞きながら事業を実施します。

一時預かり事業（幼稚園の預かり保育以外）の利用者数の計画と実績 表－13

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	量の見込み	1,600人	1,600人	1,600人	1,600人	1,600人
	確保方策	1,600人	1,600人	1,600人	1,600人	1,600人
実績		818人	677人	1,091人		
達成率		51.1%	42.3%	68.2%		

（10）延長保育事業

①事業の概要

認定された保育時間を越えて保育所等で保育を実施します。

- ・短時間認定 1日の保育時間は原則として8時間
月の就労が52時間～120時間の場合に該当
- ・標準時間認定 1日の保育時間は原則として11時間
月の就労が120時間以上

②事業の実績、課題及び今後の方向性

標準時間認定の延長保育は、1時間延長を5園で、30分延長を5園で、50分延長を1園で実施しています。

短時間認定の延長保育は全園で実施しています。令和4年度の利用実績も当初の見込みを上回りました。

施設の意向を確認しながら、利用希望に対応できるように事業を行います。

延長保育事業の利用者数の計画と実績

表-14

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	量の見込み	525人	487人	452人	419人	389人
	確保方策	525人	487人	452人	419人	389人
実績		458人	528人	548人		
達成率		87.2%	108.4%	121.2%		

※利用者数は、標準時間認定、短時間認定の合計です。

(11) 病児保育事業

①事業の概要

児童が病気の際、仕事等の理由により、保育所や小学校等での集団生活ができないときに、一時的にお子さんを預かり、保育を行います。

②事業の実績、課題及び今後の方向性

市内2か所の病児保育所で事業を実施しているほか、令和元年度から県内全市町で協定を結んで、市外での病児保育にも対応しています。

令和4年度は令和3年度と比較すると微増ですが、コロナ禍以前と比較すると依然として減少しています。令和2年度から全国的に利用者数が減少していることから新型コロナウイルス感染症の影響が理由ではないかと考えられます。

病児保育事業の利用者数の計画と実績

表-15

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	量の見込み	1,600人	1,600人	1,600人	1,120人	1,120人
	確保方策	1,600人	1,600人	1,600人	1,120人	1,120人
実績		505人	878人	887人		
達成率		31.5%	54.9%	55.4%		

(12) 放課後児童クラブ事業

①事業の概要

保護者の就労等により、放課後や夏休み等の長期休暇期間に、児童の養育ができない家庭を対象に児童を預かります。対象は小学校に在学する児童です。

②事業の実績、課題及び今後の方向性

各小学校区（11クラブ（厚狭は2クラブ））で事業を実施しています。

小学6年生までの受入を行っているのは、5クラブ（本山、有帆、厚陽、出合、埴生）です。

令和4年度には小野田児童クラブ及び高千帆児童クラブで施設整備を行い、令和5年度から供用開始し、小野田児童クラブでは高学年まで受け入れています。加えて、申込者数の減少に伴い、赤崎児童クラブ、須恵児童クラブ及び高泊児童クラブでの高学年までの受入を検討しています。

放課後児童クラブ一覧

表-16

名称	実施場所	クラス	受入 学年	待機 児童数	備考
本山	児童館（敷地内）	1	6	0	R1年度～6年生まで受入
赤崎	児童館（敷地内）	2	3	0	
須恵	児童館（敷地内）・空き教室	3	3	0	H29年度クラス拡充
小野田	児童館（敷地隣接）	1	3	15	
高泊	児童館（敷地内）	2	3	0	
高千帆	児童館（敷地外）・仮施設	3	3	54	
有帆	児童館（敷地外）	1	6	0	H30年度～6年生まで受入
厚狭	専用施設（敷地内）	2	3	25	
第二厚狭	専用施設（敷地外）	1	3	0	H30年度民間が設置
厚陽	空き教室	1	6	0	
出合	空き教室	1	6	0	
埴生	専用施設（敷地外）	1	6	0	

※クラス、受入学年及び待機児童数は令和4年度8月時点

放課後児童クラブ事業の利用者数の計画と実績

全体

表-17-1

	R4年度		
	計画A	実績B	B-A
① 量の見込み	792人	788人	3人
低学年	673人	748人	80人
高学年	119人	40人	▲77人
② 確保方策	770人	790人	40人
②-①	▲22人	2人	

※①量の見込み欄は申込者数、②確保方策欄は通所決定者数又は定員です。

令和4年8月1日時点

本山

表-17-2

	R4年度		
	計画A	実績B	B-A
① 量の見込み	41人	41人	0人
低学年	35人	34人	▲1人
高学年	6人	7人	1人
② 確保方策	47人	47人	0人
②-①	6人	6人	

赤崎

表-17-3

	R4年度		
	計画A	実績B	B-A
① 量の見込み	79人	59人	▲20人
低学年	66人	59人	▲7人
高学年	13人	0人	▲13人
② 確保方策	81人	81人	0人
②-①	2人	22人	

須恵

表-17-4

	R4年度		
	計画A	実績B	B-A
① 量の見込み	114人	100人	▲14人
低学年	97人	100人	3人
高学年	17人	0人	▲17人
② 確保方策	106人	120人	14人
②-①	▲8人	20人	

小野田

表-17-5

	R4年度		
	計画A	実績B	B-A
① 量の見込み	69人	57人	▲12人
低学年	58人	57人	▲1人
高学年	11人	0人	▲11人
② 確保方策	57人	42人	▲15人
②-①	▲12人	▲15人	

高泊

表-17-6

	R4年度		
	計画A	実績B	B-A
① 量の見込み	58人	50人	▲8人
低学年	49人	50人	1人
高学年	9人	0人	▲9人
② 確保方策	62人	80人	18人
②-①	4人	30人	

高千帆

表-17-7

	R4年度		
	計画A	実績B	B-A
① 量の見込み	152人	169人	17人
低学年	131人	169人	38人
高学年	21人	0人	▲21人
② 確保方策	120人	115人	▲5人
②-①	▲32人	▲54人	

有帆

表-17-8

	R4年度		
	計画A	実績B	B-A
① 量の見込み	31人	36人	5人
低学年	26人	31人	5人
高学年	5人	5人	0人
② 確保方策	40人	40人	0人
②-①	9人	4人	

厚狭(厚狭児童クラブ、第二厚狭児童クラブ)

表-17-9

	R4年度		
	計画A	実績B	B-A
① 量の見込み	151人	153人	2人
低学年	128人	153人	25人
高学年	23人	0人	▲23人
② 確保方策	123人	128人	5人
②-①	▲28人	▲25人	

厚陽

表-17-10

	R4年度		
	計画A	実績B	B-A
① 量の見込み	16人	20人	4人
低学年	14人	13人	▲1人
高学年	2人	7人	5人
② 確保方策	30人	30人	0人
②-①	14人	10人	

出合

表-17-11

	R4年度		
	計画A	実績B	B-A
① 量の見込み	34人	56人	22人
低学年	29人	38人	9人
高学年	5人	18人	13人
② 確保方策	44人	60人	16人
②-①	10人	4人	

埴生

表-17-12

	R4年度		
	計画A	実績B	B-A
① 量の見込み	40人	47人	7人
低学年	35人	44人	9人
高学年	5人	3人	▲2人
② 確保方策	40人	47人	7人
②-①	0人	0人	

議事2 令和5年度 子育て支援課 主要施策について

認定こども園整備助成事業

新たな園舎を整備し認定こども園への移行を予定する私立幼稚園の施設整備に対して補助金を交付し、充実した教育・保育環境を整備します。

小野田地区公立保育所整備事業

公立保育所の老朽化や、施設定員と入所園児数の不均衡を改善することを目的として策定した公立保育所再編基本計画に基づき、日の出保育園の北側に保育所を新設します。令和5年度は、実施設計、地質調査、造成工事等を行います。

子ども医療費助成拡充事業

子育て世代の経済的負担軽減を目的として、小学1年生から中学3年生までの子どもの医療費を助成しています。令和5年度8月診療分から所得制限を撤廃し、中学生までの全ての子どもの医療費を無償化します。

伴走型相談支援事業

全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができるよう経済的支援と一体的に、妊娠期から出産・子育てまで一貫して相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぎます。

出産応援ギフト事業

妊娠の届出を行った妊婦に対し、伴走型相談支援事業と一体的に経済的支援実施します。

子育て応援ギフト事業

子どもを出産した方に対し、伴走型相談支援事業と一体的に経済的支援を実施します。

入学祝金給付事業

次代を担う子どもの健全育成を図ること及び子育て世代の定住を目的として、小学校入学を迎える子どもの保護者に対して入学祝金（5万円）を給付します。令和5年度から対象を拡大し、中学校入学を迎える子どもの保護者に対しても入学祝金を給付します。

子育て総合支援センター事業

スマイルキッズは、6つの子育て支援事業を一元的に行うことで、子育てに関する相談助言をワンストップで行い、子育て世代の誰もが気軽に立ち寄ることができる子育て支援の拠点施設です。

平成30年度にオープンしたスマイルキッズは、これまで多くの方に来館いただいています。

令和5年度以降も、これまでの経験をいかしながら、また、新型コロナウイルスの感染予防対策を講じながら、利用者に親しまれる施設運営に努めます。



地域子ども健全育成事業

小野田児童館の廃止に伴い活動場所を変更し、月2回程度子どもが遊びによって心身の健康を増進し、知的・社会的能力を高め、豊かな情緒を育む魅力的な場を提供します。

子育て支援情報発信事業

母子健康手帳と併用し、スマホアプリで妊娠期から子育て期まで切れ目なくサポートができる子育て支援アプリ「ここなびさんようおのだ（母子モ）」を活用し、子育て支援情報を発信します。

次のQRコードを読み込むか、「母子モ」で検索してアプリをダウンロードすることができます。



<https://www.mchh.jp/login>